

6月13日時点

中銀預金金利マイナス化に関するECB高官発言

	人物	出身	日付	内容
否定的	Weidmann独連銀総裁	ドイツ	3月12日	「マイナス預金金利化は、政策金利のゼロ金利化よりも深刻な影響がある」
	Praet理事	ベルギー	6月11日	「異例の事態となれば全ての手段を講じる」、「マイナス金利は概念上、不可能ではないが、実際にそうなれば極めて大きな困難が生じる」、「金融システム全般に与える影響につき我々はよく認識、従って非常に慎重になるべき」
	Constancio副総裁	ポルトガル	5月29日	「どのような効果が得られるのか測定が非常に難しい。デンマークの経験では、銀行が影響を相殺するために貸出金利をしばらく引き上げるという反応があった」
	Noyer仏中銀総裁	フランス	5月28日	「必要な場合に導入できるよう準備したが、技術的に極めて微妙であり、実施の利点があるか個人的に確信がない」、「過去の例は利点を確信させるような結果ばかりではなく、銀行が中銀預金での損失を相殺するため、場合によっては金利上昇を引き起こす傾向すらあった」
	Asmussen理事	ドイツ	5月27日	「一部当局者はよりオープンだが、自分はあまりオープンではないグループに属する」
	Nowotnyオーストリア中銀総裁	オーストリア	5月3日	「マイナス預金金利は慎重を期する問題で、判断を下すにはより多くの情報と分析が必要だ。予見可能な将来に現実化するとみられるべきでない」、「マイナス預金金利につき予断を持っていない。即座に影響が出るものではないが、選択肢として排除されるものではない」（前言を受けた市場の過剰反応に対する釈明発言）」
	Liikanenフィンランド中銀総裁	フィンランド	5月3日	「技術的には用意が整っているが、意図しない影響もあるので行動する前に適切に評価せねばならない」
	Draghi総裁(ECB公式見解)	イタリア	6月6日	「マイナス預金金利化については議論したし準備ができており、選択肢の一つだが、幾つかの意図せざる結果をもたらすため、現時点で実施する理由は皆無だと判断した」
	Mersch理事	ルクセンブルク	6月13日	「必要とみなされればマイナス金利導入は可能だが、経済展望次第であり、意図せざる副作用にも留意する必要」
肯定的	Visco伊中銀総裁	イタリア	5月13日	「技術的に準備ができており、我々、そして私個人的にはマイナス金利は効果的と考える」、「予期せぬ結果を招く可能性はあるが、我々はそのように対処するか心得ている」

ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。

ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。